

概算費用内訳表	作成日付	更新日付	作成者	承認者
ID:1-3s-01700				

Software  
Engineering  
Center

(単位：千円)

項目	承認額	年度展開						合計
		HXX年度	HXX年度	HXX年度	HXX年度	HXX年度	HXX年度	
初期投資額 ①	XX, XXX	XX, XXX						XX, XXX
・ハードウェア・ソフトウェア等設備費	XX, XXX		XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX
・パッケージ等購入費	XX, XXX		XX, XXX					XX, XXX
・ソフトウェア開発費	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX					XX, XXX
・データ移行費用	XX, XXX		XX, XXX					XX, XXX
ランニング費用 ②	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX
・ハードウェア・ソフトウェア等設備費	XX, XXX			XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX
・ハードウェア・ソフトウェア保守費	XX, XXX			XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX
・パッケージ等保守費	XX, XXX			XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX
・コンピュータ運行委託費	XX, XXX			XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX
・システム保守費（維持・日常管理）	XX, XXX			XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX
・その他（ASPサービス料、通信費等）	XX, XXX			XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX
その他の一時費用 ③	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX
・コンサルティング費用など		XX, XXX						XX, XXX
合計 ①+②+③	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX	XX, XXX

5年程度の期間について、当該システムにかかる初期投資額、ランニング費用、その他一時費用と合計値を記述する。また、フェーズを区切って段階的に開発する場合も極力フェーズごとに費用対効果が出せるように設計する（最終フェーズの開発までが終わって初めて効果が出るような設計にしない）。ランニング費用には、当該システムで導入するサーバや汎用ソフトの保守費用のほか、運用後に発生する運用管理費と維持管理費を見積もる。効果と費用はプロジェクトを継続するかどうかを判断するための重要な要素であるが、基本検討段階では正確な見積もりはできないので、カタログ値や類似例、過去の経験などから推定する。